

加古川商工会議所青年部は、今年11月に設立30周年を迎えます。年明け1月には記念事業も計画されており、その企画運営の中心となる30周年運営委員会の正副委員長にお話を伺いました。

受け継ぐ思いを形に

おかげさまで30周年です

関口委員長 今年度、加古川YEGは設立30周年を迎え、1月22日にOB・県内外の各単会、来賓の方々をお招きして記念式典と大懇親会を開催する予定です。

当日の内容についてこれまで何度も検討を重ね、現在は最終段階まで来ています。YEGの歴史と未来を感じられるような事業にしたいと思っています。

西村副委員長 私は記念式典担当部会をまとめています。歴代の周年式典の資料なども参考にしていますが、今回はコロナ禍での開催で、人数制限や感染防止対策など前例のないものとなるので、頭をまっさらにして考えるところから始めました。奇抜なものではなく、青年部の節目としてふさわしい式典にしたいと思っています。

岡田副委員長 私は大懇親会担当で、お越しいただく方々の心に響く内容にしたいと考えています。アトラクションに有名人を呼べば盛り上がるかもしれませんが、「盛り上がるだけいいのか？そこに加古川YEGらしさはあるのか？」と考え、加古川に関わりのある方々に出演いただくことにしました。「加古川らしさ」を感じられる、楽しい華やかなステージが繰り広げられる予定です、私たちも今から楽しみます。

関口委員長 私たちYEGはこの30年間、仲間・家族・地域の支えがあって活動を続けてこられました。その感謝の思いと成長したYEGを見てもらいたいと思っています。

そして現役メンバーには、普段の例会などとは違った厳かさを感じることで青年部に在籍することの責任を改めて認識し、身を引き締め直してほしいとも思っています。

私たちの思いを形に

西村 関口委員長のやりたいことや考えを汲み、成功に向けてフオロし合いなながら準備を進めています。また、10年後20年後の後輩たちのために、コロナ禍での開催準備や当日の様子など記録もこまめに残していくよう心がけています。

岡田 関口委員長の指揮のもと、YEGの伝えたいことが形になるような記念事業にしたいと思います。あと数か月と迫るなか楽しみと不安の毎日ですが、当日は私たちだけでなく、来られた方も全員笑顔で終われるようにしたいですね。

関口 私たち委員会の思いは「思いをつなげる」ということです。今回、事業を考えていくなかで、先輩が築き上げた歴史を受け継いでいく思いと、次代を見据えた新たな思いとのバランスをとることがこれからのYEGには必要で、それは自社経営にも通じることだと気づきました。加古川YEGはまだまだ続いていきます。先輩から私たちへ、私たちから後輩へ、繋いでいく思いを記念行事では形として示していくるよう、委員会一丸となって準備をしていきます。コロナ禍での開催ですが、心に響き、記憶に残る特別な記念事業になると思います。



加古川商工会議所青年部30周年運営委員会
委員長 関口 望さん (写真中央)
副委員長 岡田 健司さん (左)
副委員長 西村 豪志さん (右)